

高 校 選 び (3)

中学3年生の夏休みになると、志望校を決めなくてはいけなくなります。また、夏休みには公私合同説明会、各校の学校説明会が開催され、中学校では三者面談や講習・補習、塾でも夏期講習などが開かれます。いままでなんとなく考えていた進路が、一気に現実に近いものになっていきます。

高校に進学するとき、やはり不本意入学にならないようにする必要があります。なんとなく「兄が行っていたから」「家の近くだから」「友達が受けるから」などの理由で、高校を志望するのは不本意入学につながり、入学後の高校生活が不十分な生活を送ることになってしまいます。高校の志望校のポイントにはいくつかありますが、ここでは高校卒業後の進路について考えてみましょう。

高校卒業後の自分の進むべき道が見えていますか。見えていればいるほど、高校選びはしっかりしたものとなると思います。将来、プロ野球選手やJリーガーの選手を目指している人もいるでしょうが、そのような人はごく少数で、もう既にボーイズリーグやJリーグのジュニアチームに所属し、私立高校等からの誘いや、周囲の人からの進路先の高校の勧めがあったりすると思います。私の経験でも川崎にある川崎北高校からプロ野球やJリーグの選手になった生徒はいますが、ほんとうに数えるぐらいでしかいません。やはり途中からプロ野球のスカウトに注目されスカウトが試合を視に来られたり、生徒本人がJリーグの下部組織に所属して活躍したりしていました。一般的に、プロ野球に入れる選手は、甲子園に行ける学校に入学する必要があります。それらの学校は横浜高校、東海大学付属相模高校、桐光学園高校、慶應義塾高校など限られた学校になると思います。同様に医師になりたいと思った場合、医師になるための大学に進学者を出している高校を目指すこととなりますが、医学部に進学している高校は限られます。本校の前身である清水ヶ丘高校時代の卒業生が医師を務めていることは聞きますが、近年、医学部に進学した話は聞いていません。医師になるには、私立大学に進学するには何千万円という学費等がかかります。国公立大学の医学に進学する場合は、学力がよほど高くないと合格できません。

大学進学を経て将来の進路選択の幅を広げるのであれば普通科というのが一般的だと思います。逆に、高校を卒業したら手に技術等を身につけ就職したいのであれば専門学科になると思います。また、本校の2年次・3年次のような総合学科なら就職から進学までという幅広い進路選択ができると思います。しかしながら、いまの中学3年生から「大学入学共通テスト」が開始されます。このテストは近年、中央教育審議会や文部科学省が答申や報告等で示している高大接続の柱であり、大学への入学ルールが大きく変わることを意味します。今度の大学入学共通テストには、いままでのセンター試験の解答を選択肢の中から選ぶマークシート方式のみ

ならず記述式問題が導入されることになっています。また、高大接続システム改革会議では現行のAO入試や推薦入試の在り方を見直して新ルールが示されています。AO入試は「総合型選抜」、推薦入試は「学校推薦型選抜」に名称を変更し、調査書等の出願書類他に各大学が実施する評価方法等又は大学入学共通テストの活用が必須化されます。普通科に進学するなら、大学入学共通テストを意識し、そのための学習指導・進路指導体制を整えた学校を選択するのも一つだと思います。本校は大学共通テストに対応するため新しいカリキュラムを編成し、今後の高大接続や次期学習指導要領の動向に向けた改編を行っていきます。

就職を考えるなら就職実績のある専門学科の高校に進学の方が有利だと思います。工業、商業、農業等に関する技術を修得し、資格等が取得できます。専門学科の高校は長年企業と築いてきたパイプがあり、求人票の数も普通科高校とは比較にならないくらい多くあります。ただ、近年の景気のなかで普通科高校でも就職することはできます。普通科高校のなかでは、就職実績として市役所や警察官、消防士など公務員の実績に強い学校もあります。

専門学校へ進学を考えている人は普通科、総合学科、専門学科のどれに進学してもよいと思います。ただし、医療看護系専門学校を考えている人は、進学実績のある高校を選択した方がよいでしょう。暑い中、志望校を決め、合格を目指して頑張りましょう。

7月20日(木) 全校集会での校長の講話

おはようございます。昨日の第99回高等学校野球選手権神奈川大会で本校は残念ながら敗退してしまいました。昨夜、テレビ神奈川の高校野球ニュースを観た方から「先生の学校は野球部、一般の生徒も真面目そうで、なかなかいい雰囲気ですね」という声をいただきました。野球部選手のみならず吹奏楽部、ダンス部をはじめ生徒の応援、保護者たちの支援・応援から、本校は甲子園に行ける可能性のある学校だと思います。横浜高校や東海大学付属相模高校などは甲子園に行っている常連校ですが、野球の実力だけでなく、学校全体の力からも甲子園に行ける学校なのです。私の野球部顧問の経験では、口で「甲子園を目指す」というのと「甲子園に行ける」というのは違います。野球だけ強くても甲子園には行けません。野球部をはじめ皆で甲子園にいける力をつけていきましょう。

勝負はコインの裏表と同様に、勝ちがあれば必ず負けもあります。私達が何かを行っていく場合、勝負同様に成功するか、失敗するかに分かれます。何事も絶えず勝ち続けたり、成功し続けることはできません。失敗や敗戦から得たことによって次の成功や勝利を得ることが出来るのです。私達は成功者であってははいけません。校長、何を言っているのだと思うかもしれませんが、人生において勝負に負けたり、ものごとで失敗したりすることは少なからずあります。勝負に勝ったり、成功したりするには、やはり負けた経験や、失敗した経験を生かすことが大切です。校長も定年まであと数年です。しかし、まだまだ成長しなくてはいけないと思っています。皆さんは成功者であるより成長者でなくてはいけません。人生のなかで成功や失敗を繰り返して成長していくのです。失敗を恐れる必要はありません。

明日から夏休みです。日ごろ経験できないことを経験し、今後に生かせるような夏休みにしてください。以上、全体集会でのお話を終了します。